

主催者・主管からの連絡事項

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）（カッコ内：競技規則条項）

- (1) 出発について（背泳ぎを除く）
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。（第4条1項）
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（第4条1項）
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。（第4条1項）
- (2) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。（第8条3項）
 - b. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールまで体は水面上に出ているなければならない。（第8条5項）
- (3) 招集について
競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。（第10条4項）
- (4) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。（第10条9項）
- (5) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。（第13条5項）
- (6) 水着の規定について
競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。（第15条1項）



6. IDカード/受付/テクニカルミーティング

<IDカード>

- (1) 参加選手は、大会当日、会場正面玄関より入場し、①アルコール消毒②検温のあと府県別受付テーブルで、IDカードを必ず受け取ってください。

*今大会では、健康チェックシートの提出は必要ありません。

IDカードは、2023年度日本マスターズ短水路水泳大会（滋賀）の参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付、賞状の受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、首から下げるなど会場で見える位置に必ず携帯してください。

- (2) IDカードを紛失および忘れた場合は再発行所（受付）にて再発行してください。
再発行料として500円（税込）が必要となります。

<受付>

チーム責任者は来館時、6.（1）の順序に従い、府県別受付テーブルにてチーム受付を行ってください。その際、参加賞とプログラム（予約分）をお渡しします。

プログラムに記載されている氏名・種目等を必ず確認してください。プログラムの印刷ミスがあった場合は、チーム責任者が所定用紙に記入の上、該当競技の開始1時間前までに、受付に提出してください。

※所定用紙は受付にあります。

<テクニカルミーティング>（監督者会議）

10:00～ 競技役員控室にて行います。

競技についての詳細と変更事項をご連絡します。

必ずチームの代表者または代理の方が出席し、連絡事項を出場選手に伝えてください。

7. 競技方法

- (1) 2023年（一社）日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。
- (2) 組み分けは、エントリーに従い男女別（混合リレーを除く）・年齢区別に、高年齢から低年齢へタイムの遅い組から速い組への順に行います。
- (3) 組み分けされている種目で棄権者が多数出た場合、前後の組と合同で競技を行う場合があります。
- (4) 競技時間はあくまで予定であり、競技の進行状況により前後します。招集受付に遅れると棄権扱いとなりますので、競技の進行を確認し、遅れることのないよう招集席へお越しくください。

8. ウォーミングアップ/公式スタート練習

- (1) 大会中は定められた時間で、ウォーミングアップが可能です。

※レース中に予定している6回のウォーミングアップ（休憩時間）は競技進行状況により時間の短縮等発生する場合があります。なお、この時間のウォーミングアップでの飛込みは、指定されたレーンのみ許可します。50m、100mスタート側からの一方通行とします。くれぐれも事故に気をつけて行ってください。

- (2) 公式スタート練習は、9:00～9:50の間に4・5・6レーンで行います。なお、混雑状況によりレーン数の増減を随時行います。

※公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛込み練習ではありません。

※プログラムNo. 3と4の間、No. 7と8の間、No. 13と14の間、No. 17と18の間、No. 21と22の間、No. 24と25の間、もウォーミングアップとして開放します。

但し、レースの進行状況、新記録の表彰などにより時間などが変更となる場合があります。

9. 招集

- (1) 招集席は、受付横となります。
- (2) 招集席入口横のホワイトボードにて、「No・性別・距離・種目」を提示します。
ご自分の出場する種目が掲示されたら、ただちに招集員に組・レーン・名前の申告と、IDカードを提示し、指示に従って進んでください。
※ご自分の組・レーンは忘れないように、また、間違えないように申告してください。組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となります。
- (3) 招集席へは、ご自分の出場する種目、組の8レース前までにお越しください。
競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。
※最初の種目の招集は10時20分から開始します。
- (4) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。
- (5) 25m種目およびリレー種目の第2・第4泳者に出場する選手のIDカードは、ご自身でプールサイド机上の泳がれるレーンの「IDカード入れ」に入れてください。
泳がれた後、ご自身でIDカードを忘れずにお持ち帰りください。
毎年取り違いによるトラブルが多く発生しています。他の選手のIDカードと間違わないように注意してください。

10. スタート／プールからの退水方法

<スタート>

- (1) スタートは、25m種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。
- (2) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。
- (3) プールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。

<プールからの退水方法>

- (1) 他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。退水は25m種目を除きレーンロープにつかまり水中で待機して、次の組がスタートしたら競技役員の指示に従い、横へ移動（1～3の泳者は1レーン横、4～6レーンの泳者は6レーン横）してください。競技役員から指示があった場合は、その指示に従ってください。
- (2) 25m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないように速やかに退水してください。

11. リレー種目

- (1) リレーオーダーを変更する場合（締切時間内に1回のみ）は、「リレーオーダー変更届」を提出してください。
※ 種目、年齢区分の変更はできません。
※ 同一リレー種目には、年齢区分別にかかわらず1人1回しか出場できません。

※ オーダー変更締め切り後の泳者および泳者順序の変更は認められません。

(2) 「リレーオーダー変更用紙」「棄権申し出用紙」は受付にあります。

※棄権者はチームでまとめて「棄権申し出用紙」に記入のうえ、受付に提出してください。

(3) 招集席へは、「IDカード」を持参のうえ、4名揃って集合してください。4名揃っていないと招集を受けることはできません。

(4) リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、受付にて指定の申告用紙で申告または招集所で役員へ申し出てください。申告がなく水中からスタートした場合は、記録を公認できない場合があります。

※ 第2泳者以降が水中からスタートを行うことを認めているのは、国内ルールです。世界記録の突破を目指しているチームの第2泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートを行ってください。

(5) リレーオーダー変更受付締切については以下の通りとします。

プログラム No. 1	混合	4×25mドレーラー	9:20	締切
プログラム No.12	女子	4×25mドレーラー	11:20	締切
プログラム No.13	男子	4×25mドレーラー	11:20	締切
プログラム No.22	混合	4×25mフリースタイル	13:20	締切
プログラム No.33	女子	4×25mフリースタイル	14:20	締切
プログラム No.34	男子	4×25mフリースタイル	14:20	締切

12. 表彰／記録

(1) 出場選手全員に参加賞を授与します。

(2) 各個人種目1～8位およびリレー種目の上位3位までに入賞された方は賞状を授与します。

入賞された方は、受付にて賞状をお受け取りください。

本人確認のため必ず「IDカード」を提示ください。

賞状の受け渡し時間は、その日の競技終了20分後までとします。

(3) 各種目の男女すべての組の競技終了後、1時間後目処にその種目の男女別、年齢区別のランキングを Web および公式掲示板に提示します。

(4) マスターズ水泳日本記録を突破した選手およびリレーチームには「日本新記録樹立証」を授与します。

突破した競技終了後に表彰を行いますので、競技役員の指示に従ってください。

(5) 国際水泳連盟（FINA）認定のマスターズ水泳世界記録を突破した選手およびリレーチームには「世界新記録樹立証」を授与します。

突破した競技終了後に表彰を行いますので、競技役員の指示に従ってください。

(6) 「日本マスターズ水泳短水路大会滋賀（草津）会場」の大会記録を突破した方は、「受付」にて粗品をお贈りします。

※ 大会記録がまだ無い種目および大会記録と同タイムは、対象外とします。

※ リレー種目の突破については、4名分粗品をお贈りします。

※ 粗品の受け渡し時間は、賞状と同様その日の競技終了20分後までとします。

13. 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は出場種目開始予定時間1時間前までに受付へ申告を

行ってください。

「出場申告用紙」が必要な申告

- テープ等をされる方
 - ※ 競技規則上、テープ等は認められません。やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください（指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は基本的に許可できません）。
- 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
 - ※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
- 出場に介助が必要な方
 - ※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

- リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

「世界記録申請用紙」が必要な方

- 世界記録に挑戦する方およびチーム
 - 世界記録の突破が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、受付に必ず申告してください。また、レース中の挑戦コールは挑戦者全員が対象となります。
 - ※ リレーの第1泳者として挑戦する方も必ず申告してください。

<世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について>

世界記録、また日本記録を樹立された場合、泳者の生年月日を証明するものが必要となるので準備してください。「世界記録：パスポート、住民票（3ヶ月以内のもの）のコピー、日本記録：パスポート、住民票（3ヶ月以内のもの）、免許証、マイナンバーカードのいずれかコピー」

世界記録および日本記録の突破者は、着用していた水着の確認（FINA マーク）の確認をさせていただきます。FINA承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

水着の詳細は、日本マスターズ水泳協会ホームページをご確認ください。

<異議申し立てについて>手引：2023版より

- (1) 次の場合、競技に関する抗議ができる。
 - ① 規則や競技会における規定が、順守されていなかった場合。
 - ② 発生事象が、競技会の主催者や他の競技者によって引き起こされた場合。
 - ③ 審判長の判断に納得できない場合。ただし、明らかな事実に対する抗議は認められない。
- (2) 抗議は、以下のように抗議書を提出しなければならない。
 - ① 所属チームの責任者が
 - ② 審判長に対して
 - ③ 事象発生後30分以内に
 - ④ （日本マスターズ水泳協会）本協会規定の書式で
 - ⑤ 預り金10,000円を添えて

*事象発生後30分以内とは、ランキング発表をした時間後30分以内とする。
- (3) 競技開始前にあらかじめ予見される事項についての抗議は、審判長の競技開始の合図が発せられる前までに提出しなければならない。

- (4) 提出された抗議書は、審判長によって検討される。審判長は、抗議を棄却した場合、理由を口頭で説明しなければならない。
- (5) チームの責任者は、審判長の下した判断に不服がある場合は、大会総務に申し立てをすることができる。審判長の判断に異議がない場合、預かり金は、本協会（主催団体）に徴収される。
- (6) 大会総務は、抗議書の内容を踏まえて、審判長ならびに該当審判員、監察員、その他必要と判断した担当者等から聞き取りをした上で最終的な裁定を行う。競技役員は大会総務を兼務することはできない。
- (7) 大会総務が下した裁定は、最終のものとなる。裁定結果はチーム責任者に対して説明される。抗議が受理された場合は従前の審判長判断は取り消される。その場合、預かり金は返却される。抗議が棄却された場合、預かり金は本協会（主催団体）に徴収される。

14. 施設使用上の注意

※会場利用には、「会場案内図」、「会場利用について」を参照してください。

<開場時の注意>

- (1) 選手の入退場は、正面入口より行います。（その他の入口からはご入場出来ません）開場時

チーム関係者が場所取りのために会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。

- (2) 前日から入場口に並びことはできません。当日の朝8時以降にお並びください。
- (3) 会場に入場される際は、玄関にて検温、手指の消毒をして頂き、健康チェックシートの提出が必要となります。入場される際には準備をお願い致します。
- (4) 本会場では、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から応援者・付添者・観覧者のご入場は出来ません。ご了承下さい。
※付添が必要な場合は事前にお申し付け下さい。

<施設使用上の注意>

- (1) プールサイドの観覧席等は、各チームソーシャルディスタンスを保って、譲り合って利用してください。毛布シート・荷物等による観覧席の場所取り（イスの確保）は禁止です。
※観覧席の利用状況などによっては利用をご遠慮頂く場合もございます。
イスの上や横に「チーム名入りの紙等」「小荷物」等を置いている場所は、場所取りと判断します。この場合は、会場係が撤去する場合がありますのでご了承ください。ポールによるのぼり旗（チーム旗）は、禁止とします。
会場内では、競技役員の指示に従ってください。
- (2) 更衣は必ず更衣室で行ってください。また、プールサイド・更衣室以外を水着で通行することもご遠慮ください。
- (3) 更衣室のロッカーは、数に限りがあるため、更衣室では更衣のみの利用となります。更衣後の荷物等は各自で管理をお願いします。
また、個人で管理のできない貴重品に関しては受付にて「物品 預かり証」をご記入いただき、所定の手続きをさせていただいたうえでお預かりします。
盗難等については一切責任を負えません。最近特に、各競技場における盗難事故が多発してい

ますのでご注意ください。

- (4) 館内で撮影を希望する場合は、撮影許可証が必要です。別紙「撮影許可申請書の提出について」を確認のうえ、申し込んでください。
撮影許可証を受け取り、撮影の際は必ず見える場所に着用してください。許可証をなしに撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へ連絡してください。
- (5) プールサイド、更衣室は、履物厳禁です。また、プールサイドでの水分補給はできますが、食事はできませんので選手控室または選手休憩スペースをご利用ください。
- (6) 館内の通路はぬれると滑りやすくなります。十分注意してください。
- (7) マスターズスイマーとして、マナーを守り館内をきれいに利用しましょう。
ごみ等は、各自で持ち帰ってください。
- (8) 以下のことは禁止します。
 - ① 火気の使用
 - ② 喫煙（喫煙は指定の場所のみ）
 - ③ 会場内外でのテープ類、くぎ、画びょう等の使用
 - ④ ビン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み
 - ⑤ 会場内電源を使用しての電気機器の充電
- (9) その他、館内利用については「会場案内図」「会場利用について」を参照してください。

15.健康管理

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
- (2) 会場内で、ケガや体調が悪くなった場合は、医務室にて応急処置は行いますが、その後の処置は参加者側で行ってください。
医務室は競技役員控室向かいに、救護席は第二招集席横です。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - ・ 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - ・ 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - ・ 「マスターズ水泳キーワード9」をよく理解し、参加すること。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

16.その他

- (1) 大会期間中は忘れ物のないように注意してください。忘れ物は、受付にて保管していますが、大会終了後1週間で廃棄処分します。
- (2) お申し込み時に申告された大会緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
 - ① 責任者が会場へ同行される場合：出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
 - ② 責任者が会場へ同行されない場合：大会当日、緊急時に選手のご家族等に急を要する連絡が取れるよう準備してください。
※緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (3) 私的営業活動の禁止

大会会場にて、主催者の許可なく営利活動や販促物の配布、集客活動等を行うことは禁止します。

(4) 不可抗力による中止の際の対応

大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加賞」「プログラム(申し込み分)」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。

(6) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて

本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。

① 個人情報

- ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
- ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。

② 肖像

- ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
- ・ 以降マスターズ水泳普及活動のために使用します。
- ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は主催団体・主管団体に帰属します。

(7) 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受ける

ようお願いします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。

なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。